

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立松伏高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	生徒・保護者や地域の期待やニーズを把握し、目指す学校像が設定されている。学校に寄せられる期待に十分応え、普通科・音楽科と情報ビジネスコースの2学科1コースを持つ学校の特色や強みを生かしたものとなるように工夫していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	地域の期待やニーズ、生徒の学力や進路の実態を踏まえ、重点目標が四つの柱として設定されている。学校の置かれた状況などを把握した上で設定されているが、中期的視点に立ち、課題の解決に向けて、更に重点化した内容にすることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学年等のシートが作成されるなど、分掌・学年等が連携しながら目標達成を目指す体制が整えられ、重点目標達成のための取組が進められている。今後は前年度の達成状況等を踏まえ、評価項目をより重点化された目標とすることが望まれる。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	進路指導部や教務部による補習や、「カタリバプログラム」などを活用したキャリア教育など、組織的・計画的な取組が増えてきて、成果も見られ始めている。方策がここ数年大きな変更がなく、やや抽象的なものとなっているため、評価項目の達成を目指す、具体的に効果的なものを検討し、計画的に実施することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が様々な意見やデータを基にして学校の現状と将来課題をとらえ、明確な学校経営方針を持ち、状況に即して的確にリーダーシップを発揮し取り組んでいる。その考えを教職員間で更に共通理解を深め、目標の達成を目指すことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートや学校関係者評価などを基に、取組を検証するための情報収集に努めている。学校自己評価システムを有効に活用し、前年度の課題を次年度の目標・方策に具体的に生かせるように各種アンケートを仮説の検証ができるものにするなど工夫を進め、更にPDCAサイクルを回していただきたい。	
特記事項			